

次ページへ続く

Continued on next page...

カリフォルニア大学バークレー校 旧三井文庫蔵御会関係資料細目稿

カリフォルニア大学バークレー校東アジア

図書館所蔵の旧三井文庫本のうちの写本については、日野龍夫・伊井春樹・渡邊守邦三氏と長谷川の五十八年九月の調査をもとに、

「カリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫写本目録稿」なる簡略な目録を作製し本誌第五号に収めた。しかし現地における右の三週間の滞在中大いに努力したのであるが、近世和歌の詠草一山に手を着けることが出来なかつた。詠草で一まとまりをなしているものの幾つかは右目録に掲げているが、懐紙一枚の、あるいはこよりで数枚を綴じたものの数百点が時間切れで残った。右目録及び渡邊・長谷川の同館所蔵版本手控をもとに今回収集

を開始したのであるが、右の目録未載の詠草類の撮影をも同時にお願ひし、そのフィルム

からリーダープリンターで焼いたものをもとに、丁度本年度共同研究で来館いただいている近世和歌文学研究会の方々の御協力を得てその細目を作製した。既発表目録の番外、補遺として右目録とあわせて御利用を願ひたい。また好機会と思ひ、右目録に既掲の詠草のうち、時代の上るものを含む二二三三番の「詠草 文禄至天保」について細目をとっていたが、末に附載した。なお右のようにして作製したので、一枚の懐紙のものと、数回の会分の分をこよりでまとめたものとの弁別は、写真では十全を期し難いのでさような記載法を

とっていない。本細目の項目数がそのまま現物の冊点数でないことに御注意願ひたい。

本細目はすべて近世和歌文学研究会の市古夏生・揖斐高・小高道子・菊地明範・嶋中道則・島原泰雄・白石良夫・鈴木健一・鈴木淳・高梨素子・林達也・坂内泰子・古相正美（五十音順）諸氏の手になる。御協力に御礼申上げる。

終りに本細目の作製・掲載を御許可下さつた同図書館長ドナルド・H・シャイブリ教授に御礼申上げ、面倒な撮影の手順を整えて下さった同館の加藤紀子氏、実際の作業にお当り下さった同館の方々にあわせて謝意を表する。

（長谷川 強）

凡例

- 一、本細目はカリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫蔵御会関係資料を、国文学研究資料館が収集したマイクロフィルムを対象として作製した。
- 二、配列はすべてマイクロフィルムの順序に従った。
- 三、国文学研究資料館におけるマイクロフィルムのリール番号をI(Ⅰ)～VI(Ⅵ)の下に記した。
- 四、項目は御会単位に立てることを原則した。
- 五、各項目の記載は、まず年時および御会名を見出しとして標示し、さらに歌題および歌人名を記した。ただし、歌題は一首・二首・三首の通り題の場合には全部を、多数ある場合には、最初についてのみ記し、ほかは「他」として省略した。また歌人名については、巻頭のみ記し、ほかは「他」としたが、巻頭が御製の場合のみ、二番目の歌人名まで記した。
- 六、編者の判断にはすべて「」を付した。

I (225-44)

永正八年正月十九日 和歌御会始

「寄若菜祝言」

御製・茶地丸他

慶長十五年 四月廿五日

「新緑勝花」他

竹他

慶長十五年 四月廿五日 当座

「鶯告春」他

竹他

慶長十六年九月十三日 仙洞百首御当座

「立春」他

院御製・乘阿他

慶長十七年 七夕和歌御会

「乞巧奠」他

御製・智仁他

慶長十七年 重陽和歌御会

「月照菊花」他

御製・智仁他

慶長十八年正月十九日 和歌御会始

「鶯是万春友」他

御製・兼勝他

慶長十八年 重陽和歌御会

「对菊契秋」

御製・智仁他

「年不明」 重陽和歌御会

「菊延齡」

御製・智仁他

慶長十七年六月廿五日 聖廟御法案

「海上霞」他

良恕他

慶長十八年二月廿二日 水無瀬宮御法案

「初春霞」他

智仁他

慶長十八年二月廿五日 聖廟御法案

「早春」他

良恕他

慶長十九年二月廿二日 水無瀬宮御法案

「立春霞」他

御製・興意他

慶長十九年二月廿五日 聖廟御法案

「関早春」他

信尹他

慶長十九年十一月廿五日 月次詠三首和歌

「時雨驚夢」「水閉細流」「寄名所恋」

智仁他

慶長十九年正月十九日

「幸逢泰平代」

御製・智仁他

慶長廿年二月九日 御稽古御当座

「霞中滝」他

御製・実条他

慶長廿年二月廿二日 水無瀬宮御法案

「初春」他

智仁他

慶長廿年二月廿五日 聖廟御法案

「初春霞」他

貞清他

慶長廿年二月廿五日 毎月御稽古之御当座

「立春雲」他

御製・最胤他

慶長廿年三月九日

「朝霞」他

実条他

慶長廿年五月廿五日

「早春霞」他

信尋他

元和三年六月十九日

「朝首夏」他

忠栄他

元和三年七月七日

「七夕糸」

御製・信尋他

元和四年二年廿二日

「立春」他

智仁他

元和四年二月廿五日

「連峯霞」他

御製・尊純他

元和五年九月九日

「菊花久芳」

御製・智仁他

元和五年正月十九日

「花有喜色」

御製・信尋他

元和五年二月六日 和歌御月次

「春色浮水」

信尋他

元和五年四月六日 御月次和歌

「聞郭公」「名所山」

御製・公広他

元和五年二月廿二日 水無瀬宮御法案

「山霞」他

御製・良恕他

元和五年二月廿五日 聖廟御法案

「早春」他

智仁他

元和五年三月六日

「初花」他

信尋他

元和七年二月廿二日 水無瀬殿御法案

「早春」他

御製・為頼他

元和五年六月六日 御月次和哥

「樹陰納涼」

信尋他

元和五年六月廿五日 聖廟御法案

「初春」他

良恕他

元和五年七月八日

「残暑」他

信尋他

元和五年 七夕

「七夕夜深」

御製・信尋他

元和六年七月廿四日 月次御会

「早涼知秋」

興意他

元和六年九月九日 和歌御会

「菊香隨風」

御製・智仁他

元和七年正月十九日 和歌御会始

「对亀争齡」

御製・信尋他

元和七年二月廿五日 聖廟御法案

「早春霞」他

良恕・御製他

元和八年二月十六日 御月次和歌

「柳籬風」

御製・資勝他

元和八年三月廿四日 月次和歌御会

「静見花」「風前落花」「寄花恋」

御製・信尋他

元和八年四月二日 御月次和歌

「新樹」「待郭公」「浦舟」

御製・總光他

元和八年四月十六日 御月次和歌

「夏風」「夏野」「夏旅」

御製・通村他

元和八年五月廿四日 月次和歌御会

「水鷄」「池蓮」「曉鐘」

御製・信尋他

元和八年六月二日 御月次和歌

「瞿麦」「納涼」

御製・公広他

元和八年六月廿七日 御月次和歌

「螢知夜」「待恋」

御製・資勝他

元和八年 七夕和歌御会

「名所七夕」

御製・信尋他

元和八年七月廿四日 月次和歌御会

「初秋風」「女郎花」「漁舟火」

御製・智仁他

元和八年八月六日 御月次和歌

「懂不待夕」「月秋友」「曉雲」

御製・忠栄他

元和八年 重陽和歌御会

「菊送多秋」

御製・智仁他

元和八年四月廿四日 月次御会

「初春鶯」他

御製・兼賢他

元和八年六月廿四日 月次御会

「首夏山」他

良恕他

元和八年八月廿四日 月次御会

「萩知秋」他

良純他

元和八年三月二日 御月次和歌

「霞」他

御製・孝治他

元和八年五月二日 御月次和歌

「首夏」他

公広他

元和八年七月二日 和歌御会

「初秋風」他

実条他

元和八年九月六日 和歌御会

「秋朝」他

共房他

元和八年三月十六日 御月次和歌

「余寒水」他

御製・通村他

元和八年五月十六日 月次御会

「首夏」他

通村他

元和八年七月廿一日 月次御会

「新秋露」他

資勝他

元和八年九月十三夜

「嶺上月」他

御製・基音他

元和八年二月廿二日 水無瀬殿御法楽

「山霞」他

智仁他

元和八年六月廿五日 聖廟御法樂

「初春梅」他

貞清他

元和八年二月廿五日 聖廟御法樂

「嶺樹霞」他

信尋他

元和八年八月廿六日 後陽成院御正忌

「如是我聞」他

御製・実条他

元和九年正月十九日 和歌御会始

「梅交松芳」

御製・信尋他

元和九年二月六日 和歌御会

「二月余寒」

御製・忠栄他

元和九年二月十二日

「柳弁春」

御製・信尋他

元和九年二月十八日 和歌御会

「漸待花」

御製・通村他

元和九年三月廿四日

「嶋款冬」「暮春鶯」「晬逢恋」

御製・資胤他

元和九年四月六日

「首夏藤」「尋郭公」「違約恋」

御製・公広他

元和九年五月廿四日

「夏月透竹」「水辺螢」「述懐非」

御製・良恕他

元和九年四月十八日

「夕卯花」「遠郭公」「片思」

御製・資勝他

元和九年六月十九日

「扇」「泉」「蓬」

御製・公広他

元和九年六月十九日

「扇」「泉」「蓬」

〔前項に同、御製不載〕

公広他

寛永元年三月六日 和歌御会

「残花」「尋郭公」「旅恋」

御製・公広他

寛永元年三月十三日 和歌御会

「花下忘掃」

御製・光広他

寛永元年四月十日

「庭樹結葉」

御製・資勝他

寛永元年五月十三日 和歌御会

「山五月雨」「名所夏月」「逐日増恋」

御製・光広他

寛永元年七月七日 和歌御会

「七夕即事」

御製・信尋他

寛永元年八月廿四日 和歌御会

「鹿声留人」「馴不逢恋」

御製・智仁他

寛永元年九月九日 和歌御会

「雛菊如雪」

御製・信尋他

寛永元年九月廿日 和歌御会

「擗寒衣」「返書恋」

御製・資胤他

寛永元年十二月廿四日 和歌御会

「早梅」「除夜」「厭恋」

御製・智仁他

寛永二年二月十三日 和歌御会

「禁庭待花」

御製・信尋他

寛永二年六月廿四日 和歌御会

「野夕立」「六月祓」「山家灯」

御製・信尋他

寛永二年七月七日 和歌御会

「天河雲為橋」

御製・信尋他

寛永二年十月廿四日 和歌御会

「時雨晴陰」「閑庭寒草」「遠帆速波」

信尋他

寛永元年三月廿六日 和歌御会

「松色春久」

御製・信尋他

寛永二年二月廿二日 水無瀬宮御法楽

「嶺樹霞」他

信尋他

寛永二年二月廿四日

「早春霞」他

御製・貞清他

寛永二年二月廿五日 聖廟御法楽

「山早春」他

智仁他

寛永二年正月十九日 公宴和歌御会始

「水石契久」

御製・信尋他

寛永二年六月廿五日 聖廟法楽

「杜首夏」他

信尋他

寛永二年七月廿四日 和歌御会

「暁立春」他

智仁他

寛永二年

「立春氷」他

貞清他

寛永四年 重陽御会

「菊粧如錦」

御製・智仁他

寛永六年 重陽御会

「露光宿菊」

御製・貞清他

寛永十四年正月十二日 仙洞御会始

「南枝暖待鶯」

御製・康道他

寛永十四年十月三日 逍遙院百年忌三付祖父

勸進申候旨也

「釈教」他

実教

寛永十七年正月廿四日 禁中御当座

「初恋」他

実教

寛永十八年二月廿五日 竹門良恕当座

「鶯」他

実教

「年時不明」〔和歌書留〕

「霞」他

良恕他

五月廿七日他〔実教出御会廻状 四通〕

元和七年 七夕和歌御会

「織女惜暁」

御製・信尋他

「年時不明」

「閑庭散葉」他

〔作者名欠〕

寛永十五年七月廿日

「早春」他

実条

同八月十五日

「月前鹿」他

「作者名欠」

同十六年五月八日

「貴賤更衣」他

「作者名欠」

同八月十五日

「十五夜当日」他

「作者名欠」

「年時不明」百首内十首第六

「搦衣」他

実条

「年時不明」〔実条詠草〕

「更衣」他

実条

〔素然点〕

慶長十九年〔和歌書留〕

「元日」他

「作者名不明」〔虫喰〕

慶長廿年六月廿五日 聖廟御法案

「元日宴」他

興意他

寛永十八年正月十九日

「禁苑春来早」

道房他

正保三年 重陽御会

「雛菊新綻」

御製・康道他

延宝二年 重陽公宴

「翫菊延齡」

御製・内房他

慶安五年正月廿日 仙洞御会始

「梅柳渡江春」

御製・式部卿宮他

II (225-45)

寛文元年 七夕

「七夕草花」

御製・資慶他

天和三年 七夕

「七夕草花」

御製・基熙他

享保八年 七夕

「七夕草花」

御製・家久他

寛文三年正月十九日 公宴御会始

「梅花告春」

御製・光平他

寛文十年正月十九日 禁裏和歌御会始

「春色柳先知」

御製・房輔他

寛文十三年七月七日

「烏鵲成橋」

御製・幸仁他

〔年時不明〕

「立春」他

道香他

〔延宝力〕二年 七夕

「銀河月如船」

御製・房輔他

〔年時不明〕〔和歌書留〕

「寄月恋」他

延宝四年正月十九日 公宴御会始

「水石契久」

御製・房輔他

貞享元年七月七日

「乞巧奠」

御製・基熙他

貞享元年九月九日 公宴和歌御会

「菊粧如錦」

御製・基熙他

貞享四年、同五年 元禄十一年〔靈元院詠

草〕

「試筆」他

〔作者名欠〕

元禄五年 内裏和歌御会始

「禁苑春来早」

御製・基熙他

元禄十一年正月廿四日 公宴和歌御会始

「松竹春増色」

御製・兼熙他

元禄十二年正月廿四日 公宴御会始

「雪消山色静」

御製・基熙他

元禄十四年七月七日 公宴和歌御会

「七夕地儀」

御製・兼熙他

元禄十五年正月十二日 仙洞和歌御会始

「江山春興多」

御製・基熙他

元禄十七年正月廿四日 内裏御会始

「風来楊柳辺」

御製・兼熙他

宝永二年正月廿四日 公宴和歌御会始

「露暖梅開」

御製・兼熙他

宝永四年七月七日 公宴御会

「七夕手向」

通茂他

正徳三季八月四日初卯

「早秋」他

通躬他

正徳四年正月廿一日 和歌御会始

「椿寿八千春」

御製・輔実他

正徳四年正月廿四日 公宴御会始

「庭梅久芳」

御製・輔実他

正徳五年正月十四日 院御会始

「池水尽解」

御製・輔実他

正徳四年十月廿一日 吉田社御法楽

「初春」他

御製・兼親他

正徳五年正月十四日 院御会始

「池水尽解」

〔前々項に同じ、別筆〕

御製・輔実他

正徳五年十二月廿一日 吉田社御法楽

「隣霞」他

通誠他

同月廿二日 水無瀬宮御法楽

「子日松」他

実陰他

正徳五年正月廿六日 法皇当座御会

「梅薫風」他

御製・幽海他

正徳五年二月廿一日 吉田社御法楽

「霞」他

輔実他

正徳五年二月廿一日 吉田社御法案〔断片〕

「霞」他

輔実他

正徳五年二月廿二日 水無瀬宮御法案

「曉余寒」他

邦永他

正徳五年四月二日 院御当座

「里鶯」他

正仁他

正徳六年正月廿一日 吉田社御法案

「立春水」他

御製・幽海他

同月廿二日 水無瀬宮御法案

「正朔子日」他

御製・為綱他

正徳六年後二月廿一日 吉田社御法案

「元日」他

通躬他

同月廿二日 水無瀬宮御法案

「霞遠山衣」他

通誠他

正徳六年五月廿一日 吉田社御法案

「梅始開」他

通躬他

正徳六年六月廿一日 吉田社御法案

「春來水解」他

実陰他

正徳六年五月廿二日 水無瀬宮御法案

「ほととぎす」他

実陰他

享保元年七月廿一日 吉田社御法案

「松上霞」他

正仁他

享保元年七月廿二日 水無瀬宮御法案

「早秋曉露」

御製・実陰他

享保元年八月廿一日 吉田社御法案

「三日月」他

網平他

享保元年十一月廿一日 吉田社御法案

「嶺殘雪」他

通誠他

享保元年一月廿二日 水無瀬宮御法案

「冬天象」他

実陰他

享保元年十月廿一日 吉田社御法案

「時雨廻山」他

御製・豊忠他

享保二年正月十四日 院和歌御会始

「垂柳臨水」他

御製・網平他

享保二年正月廿四日 公宴和歌御会始

「竹裏曉鶯声」

御製・網平他

享保三年正月十四日 院御会始

「竹樹有嘉色」

御製・網平他

享保三年正月廿四日 公宴和歌御会始

「池水長澄」

御製・網平他

享保四年正月廿四日 公宴和歌御会始

「梅香移柳」

御製・網平他

享保四年正月廿六日 日吉社御法案

「驚知春」他

御製・兼香他

〔享保四年〕同月廿七日 多賀社御法楽

「立春風」他

御製・永副他

享保四年六月七日 日吉社御法楽

「山早春」他

尊祐他

享保四年二月十七日 日吉社御法楽

「霞満山」他

邦永他

享保二年五月十八日 日吉社御法楽

「梅風」他

邦永他

享保五年八月廿八日 愛宕社御法楽

「朝萩」他

邦永他

〔享保五年〕同月廿九日 赤山社御法楽

「柳靡風」他

実陰他

享保五年九月八日 法皇当座御会

「梅移水」他

御製・光栄他

享保六年正月廿四日 公宴和歌御会始

「江上春望」

御製・綱平他

享保六年三月廿一日 赤山社御法楽

「見花」他

尊昭他

享保六年三月廿六日 愛宕社御法楽

「谷鶯」他

尊祐他

享保六年八月十五日 法皇詩歌御会

「八月十五夜」

御製・通躬他

享保六年九月廿九日 赤山社御法楽

「立春都」他

貞建他

享保三年正月十四日 院御会始

「竹樹有嘉色」

御製・綱平他

享保六年十二月廿一日 赤山社御法楽

「柳弁春」他

家仁他

享保七年正月廿五日 愛宕社御法楽

「曙霞」他

御製・俊清他

享保七年正月廿九日 赤山社御法楽

「朝子日」他

御製・通躬他

享保七年二月廿日 愛宕社御法楽

「早春浦」他

邦永他

享保七年二月卅日 赤山社御法楽

「氷始解」他

家仁他

享保七年三月廿一日 赤山社御法楽

「若菜」他

貞建他

享保七年三月廿六日 愛宕社御法楽

「立春」他

尊昭他

享保七年四月廿一日 赤山社御法楽

「早春水」他

尊祐他

享保七年四月十三日 内々御当座

「霞満山」他

御製・通躬他

享保七年五月廿一日 赤山社御法楽

「夏暁」他

兼香他

享保七年五月廿七日 愛宕社御法楽

「閑路霞」他

実陰他

享保七年四月廿一日 愛宕社御法楽

「新樹夕風」他

通躬他

享保七年六月廿一日 赤山社御法楽

「山早春」他

尊祐他

享保七月六月廿二日 愛宕社御法楽

邦永他

享保七年七月七日 公宴七夕和歌御会

「憶牛女言志」

御製・兼香他

享保七年七月廿日 赤山社御法楽

「初秋」他

尊昭他

享保七年七月廿八日 愛宕社御法楽

「海辺朝霞」他

貞建他

享保七年九月卅日 赤山社御法楽

「早春鶯」他

通躬他

享保七年九月廿九日 愛宕社御法楽

「立春」他

兼香他

享保七年七月廿三日 愛宕社御法楽

「としもこえぬる」他

尊祐他

享保七年十月廿九日 赤山社御法楽

「時雨晴」他

邦永他

享保七年十二月十一日 赤山社御法楽

兼香他

享保七年十二月十二日 愛宕社御法楽

「霞春衣」他

尊昭他

享保八年正月十四日 洞中和歌御会始

「梅近聞鶯」

御製・阿計丸他

享保八年正月十四日 洞中和歌御会始

「梅近聞鶯」

〔前項に同じ、別筆〕

御製・阿計丸他

享保八年三月十八日 石見国柿本社御法楽

「立春」他

御製・阿計丸他

享保九年八月十八日 石見国柿本社御法楽

「立春朝」他

尊祐他

同月同日 播磨国柿本社御法楽

「月前風」他

尊昭他

享保九年十月廿二日 水無瀬宮御法楽

「浜霞」他

享保九年十二月四日 御鎮守柿本社御法楽

「早春梅」他

御製・実陰他

享保十年正月十三日 院御会始

「松契多春」

御製・阿計丸他

享保十年正月廿四日 公宴和歌御会始

「禁中佳趣」

御製・網平他

享保十年二月十一日 院御当座

「野径霞」他

実陰他

享保十一年正月十四日 院和歌御会始

「山影写水」

御製・阿計丸他

享保十一年六月十三日 夜於洞中北苑御当座

「夏風」他

尊昭他

享保十一年六月廿五日 聖廟御法案

「初春梅」他

御製・為久他

享保十二年閏正月十七日 院御当座

「松残雪」他

通躬他

享保十二年正月十八日 法皇和歌御会始

「逐年花珍」

御製・阿計丸他

享保十二年正月十八日 法皇和歌御会始

「逐年花珍」

「前項に同じ、別筆」

御製・阿計丸他

享保十二年正月廿四日 公宴和歌御会始

「池岸有松鶴」

御製・家久他

享保十二年正月廿九日 院御当座

「野若菜」他

御製・通躬他

享保十二年二月廿八日 敬法門院七十之御賀

従家仁親王被進和歌

「立春霞」他

御製・吉忠他

享保十二年四月一日 一乘院宮御当座

「霞春衣」他

尊昭他

享保十二年六月廿五日 院聖廟御法案

「梅遠薫」他

尊昭他

享保十二年八月十五夜 詩歌御会

「十五夜待月」他

御製・常雅他

享保十二年八月廿三日 稻荷社御法案

「春日」他

職仁他

享保十二年九月廿九日 多賀社御法案

「貴賤迎春」他

尊昭他

享保十二年十一月九日 松尾社御法案

「霜埋落葉」他

公福他

享保十二年十一月十五日 住吉社御法案

「海霞」他

光栄他

享保十三年九月十九日 鞍馬毘沙門天御法案

「余寒月」他

実陰他

享保十三年十一月廿日 鞍馬毘沙門天御法案

「初春鶯」他

尊祐他

享保十三年十二月十四日 鞍馬毘沙門天御法案

「むつき」他

通躬他

享保十五年正月廿一日 鞍馬毘沙門天御法楽

「初春雪」他

御製・職仁他

享保十五年正月十八日 院和歌御会始

「鶯花契万春」他

御製・家久他

享保十五年正月廿四日 公宴和歌御会始

「迎春祝代」

御製・皇太子御諱他

享保十五年正月廿八日 院御当座

「行路梅」他

御製・公福他

享保十五年二月十五日 鞍馬毘沙門天御法楽

「霞遠聲」他

家仁他

享保十五年二月廿三日 於有栖川亭御当座御

会

「早春柳」他

御製・公福他

三月九日詩歌御当座

「盛花」他

尊昭他

享保十五年三月廿日 鞍馬毘沙門天御法楽

「松下残雪」他

貞建他

享保十五年四月十二日 於幡枝詩歌当座御会

「余花何在」他

公福他

享保十五年四月廿八日 鞍馬毘沙門天御法楽

「雪消水又积」他

尊昭他

享保十五年五月廿三日 鞍馬毘沙門天御法楽

「暁郭公」他

職仁他

享保十五年六月十七日 鞍馬毘沙門天御法楽

「霞間柳」他

尊祐他

享保十五年七月廿三日 鞍馬毘沙門天御法楽

「暁知早凉」他

通躬他

享保十五年八月廿七日 院和歌当座御会

「早春梅」他

家仁他

享保十五年八月晦日 鞍馬毘沙門天御法楽

「霞隔村」他

実陰他

享保十五年九月十二日 鞍馬

「池辺薄滋」他

公福他

享保十五年九月十三夜 院詩歌御当座

「秋深月明」他

実陰他

享保十六年正月廿一日 院御会始

「松柳繞池水」他

御製・家久他

享保十六年四月一日

「竹間鶯」他

通躬他

享保十九年正月廿四日 公宴御会始

「鶯有歡声」

御製・皇太子御諱他

享保廿年正月廿四日 公宴御会始

「霞添山気色」

御製・皇太子御諱他

享保廿年正月廿六日 東宮御会始

〔池水浪靜〕

御製・家久他

〔正月〕十四日法皇御会始〔寄歳祝言〕

他

享保六年八月晦日 赤山社御法案

〔月前風〕他

邦永他

〔和歌書留〕

〔朝春雨〕他

公福

享保五年九月九日已来院御着到百首草初度

〔都立春〕他

〔作者名欠〕

享保六年〔和歌書留〕

〔試筆〕他

享保七年八月廿日 赤山社御法案

〔初春〕他

実陰他

享保七年八月廿二日 愛宕社御法案

〔早凉到〕他

御製・尊祐他

仙洞御製

〔歳中立春〕他

享保七年十一月卅日 赤山社御法案

〔海辺霞〕他

御製・有藤他

享保七年十一月卅日 愛宕社御法案

〔初雪〕他

貞建他

享保六年十二月十九日 愛宕社御法案

〔山時雨〕他

〔池水浪靜〕

御製・家久他

Ⅲ (225-46)

正徳五年〔和歌書留〕

五月水無瀬宮御法案〔夏虫〕他

〔作者名欠〕

正徳六年〔和歌書留〕

正月廿四日禁裏御会始〔禁苑春來早〕他

〔作者名欠〕

享保二年七月已來詠

七夕公宴〔銀河月如船〕他

〔作者名欠〕

享保三年〔和歌書留〕

正月十四日院御会始

〔作者名欠〕

享保二年〔和歌書留〕

正月十四日法皇御会〔垂柳臨水〕他

〔作者名欠〕

享保四年・同五年〔和歌書留〕

〔正月〕十四日法皇御会始〔寄歳祝言〕

他

〔作者名欠〕

享保五年九月九日已来院御着到百首草初度

〔都立春〕他

〔作者名欠〕

享保六年〔和歌書留〕

〔試筆〕他

〔作者名欠〕

享保六年上巳已来院御着到百首草第二度

〔関路早春〕他

〔作者名欠〕

享保六年十一月廿四日愛宕社御法案

〔春曙花〕他

尊昭他

享保六年十二月廿一日赤山社御法案

〔江上霞〕他

御製・兼香他

享保六年八月廿九日愛宕社御法案

〔子日の松の〕他

尊祐他

享保六年八月晦日 赤山社御法案

〔月前風〕他

邦永他

〔和歌書留〕

〔朝春雨〕他

公福

享保七年八月廿日 赤山社御法案

〔初春〕他

実陰他

享保七年八月廿二日 愛宕社御法案

〔早凉到〕他

御製・尊祐他

仙洞御製

〔歳中立春〕他

享保七年十一月卅日 赤山社御法案

〔海辺霞〕他

御製・有藤他

享保七年十一月卅日 愛宕社御法案

〔初雪〕他

貞建他

享保六年十二月十九日 愛宕社御法案

〔山時雨〕他

貞建他

享保四年八月三日 日吉社御法案

「雪消水又积」他

尊昭他

享保四年八月十二日 多賀社御法案

「朝露結来」他

尊祐他

享保八年 同九年 同十年〔和歌書留〕

「試毫」他

公福

〔加賀宰相書状、十二月十三日付、三条中将

殿宛〕

元文二年正月廿四日 公宴和歌御会始

「東風暖入簾」

御製・兼香他

元文二年二月三日 院和歌御会始

「椿葉契久」

御製・兼香他

元文三年八月 靈元院七回聖忌御追善和歌

五十首

「早春雪」他

〔作者名欠〕

元文四年正月廿四日 御会始

「露暖梅開」

御製・兼香他

元文五年正月廿四日 和歌御会始

「若菜契遐年」

御製・兼香他

元文五年七月廿一日 御当座

「女郎花」「秋恋」

御製・光栄他

元文六年正月廿四日 和歌御会始

「雪消山色靜」

御製・兼香他

元文五年〔和歌書留〕

「元旦陪柿本影前言志」他

〔作者名欠〕

元文六年〔和歌書留〕

「試筆」他

〔作者名欠〕

寛保二年〔和歌書留〕

「試毫」他

〔作者名欠〕

寛保三年 詠藻

「試筆」他

〔作者名欠〕

安永五年九月、同六年十二月迄 詠

九月十八日窮始〔寄鶴祝〕他

〔作者名欠〕

宝曆九年〔和歌書留〕

「松延齡友七十賀」他

〔作者名欠〕

寛政六年〔和歌書留〕

正月十八日仙洞御会始〔洞庭松久〕他

〔作者名欠〕

新古今冬歌〔抜粹〕

「題しらす」他

西行他

〔和歌書留〕

「早春」他

実教

IV (225-47)

寛保元年三月廿四日 御月次

「野雉」「岸款冬」「春恋」

御製・道香他

〔為久卿自筆自詠和歌写、戸沢上総介宛〕

寛保元年七月関東下向之時為久卿

「打出浜」他

八月十五夜於江府旅館 見月言志和歌十首

〔作者名欠〕

寛保元年十一月廿四日 月次和歌御会

「野行幸」「豊明節会」「寄禁中恋」

御製・兼香他

寛保二年十一月廿八日 月次御会

「藤間駕」「霞似玉」「白地恋」

家仁・貞建他

寛保二年五月五日 当座御会

「五月五日」

御製・直仁他

寛保二年二月七日 和歌御会

「梅有喜色」

御製・直仁他

寛保二年正月廿四日 和歌御会始

「心静酌春酒」

御製・兼香他

寛保二年正月廿四日 和歌御会始

「心静酌春酒」

〔前項に同じ、別筆〕

御製・兼香他

寛保二年三月十日

「禁中花」「寄花祝」

御製・道香他

寛保二年七夕和歌御会

「乞巧奠」

御製・兼香他

寛保二年七月廿四日 月次御会

「残暑」「野蘭」「誓恋」

兼香他

寛保二年 重陽御会

「菊花薰袖」

御製・兼香他

寛保二年十二月七日 和歌御会

「禁庭雪」「雪中旅」

御製・直仁他

寛保三年正月廿四日 和歌御会始

「春色柳光知」

御製・兼香他

寛保三年二月十六日 将軍家六十賀和歌御会

「竹有佳色」

御製・兼香他

寛保三年 重陽和歌御会

「籬菊色々々」

御製・兼香他

寛保四年三月四日 当家会始

「花契千年」

貞建他

寛保四年正月廿四日 和歌御会始

「南枝暖待鶯」

御製・兼香他

寛保四年三月四日 烏丸家会始

「寄道祝」

兼香他

延享元年五月十八日 道御伝授竟宴御会贈儀

「寄道祝言」

御製・兼香他

延享元年八月廿八日 石見国柿本社御法楽

「山早春」他

御製・光栄他

延享元年八月廿八日 播磨国柿本社御法楽

「立春」他

光荣他

延享元年 重陽御会

「菊花宴久」

御製・兼香他

延享二年正月廿四日 和歌御会始

「江山春興多」

御製・兼香他

延享二年三月七日 家会始

「寄歳祝」

貞建他

延享四年六月十三日 仙洞和歌御会始

「松有歓声」

御製・兼香他

延享五年正月十三日 洞中和歌御会始

「滝音知春」

御製・兼香他

延享五年正月廿四日 公宴和歌御会始

「初春祝君」

院御製・兼香他

寛延二年正月十二日 院和歌御会始

「陽春布徳」

御製・兼香他

寛延二年二月一日 禁中和歌御会始

「鶯有慶音」

御製・院御製・兼香他

寛延三年二月十二日 和歌御会始

「風来楊柳辺」

御製・后宮御歌他

寛延三年正月廿四日 公宴和歌御会始

「寄若菜祝言」

御製・兼香他

寛延四年六月十二日 和歌御会始

「緑松臨池」

御製・兼香他

寛延四年七月七日 和歌御会

「星河秋久」

御製・道香他

寛延四年九月九日 重陽御会

「菊花滿庭」

御製・内前他

宝曆二年正月廿四日 御会始

「竹添春色」

御製・兼香他

〔宝曆二年〕 七夕

「禁中七夕」

御製・道香他

宝曆二年正月廿四日 和歌御会始

「竹添春色」

御製・道香他

宝曆二年二月五日 有栖川宮会始

「每日有春」

内前他

宝曆二年 重陽御会

「菊送多秋」

御製・道香他

宝曆三年正月廿四日 御会始

「春到水解」

御製・道香他

宝曆三年 七夕御会

「庚申七夕」

御製・道香他

宝曆四年正月廿四日 和歌御会始

「梅花告春」

御製・道香他

宝曆四年 七夕御会

〔二星適逢〕

御製・内前他

宝曆四年九月

「籬菊带秋風」

御製・道香他

宝曆五年正月廿四日 和歌御会始

「禁中佳趣」

御製・道香他

宝曆五年 七夕和歌御会

「七夕夜涼」

御製・道香他

宝曆六年七月七日 七夕御会

「七夕管絃」

御製・内前他

宝曆七年正月廿四日 和歌御会始

「霞遠山衣」

御製・内前他

宝曆八年正月廿四日 御会始

「貴賤迎春」

御製・内前他

宝曆八年 七夕御会

「七夕祝」

御製・内前他

宝曆八年九月 重陽御会

「菊有新花」

御製・内前他

宝曆九年正月廿四日 和歌御会始

「万物感陽和」

御製・内前他

宝曆九年 七夕御会

「名所七夕」

御製・内前他

宝曆九年 七夕御会

「名所七夕」

〔前項に同じ・別筆〕

御製・内前他

明和四年正月廿四日 和歌御会始

「梅有佳色」

御製・内前他

安永二年二月三日 禁中御当座

「初春」他

御製・内前他

〔安永二年〕二月五日仙洞御当座

「若菜」他

御製・公明他

〔安永二年〕二月廿二日 禁中水無瀬宮御法

菜

「朝鷲」他

尚実他

〔安永二年〕二月廿二日 仙洞水無瀬宮御法

菜

「初春」他

内前他

〔安永二年〕二月廿四日 御月次

「初春」他

美仁他

安永三年正月廿四日 公宴和歌御会始

「雪消山色靜」

御製・院御製・内前他

〔安永三年〕正月十八日 仙洞御会始

「寄歳祝言」

御製・内前他

安永七年二月十六日 近衛准后家会始

「柳糸隨風」

内前他

安永七 公宴

「七夕橋」

御製・院・内前他

安永八年正月十八日 仙洞和歌御会始

「鶯花契万春」

御製・内前他

安永八年二月十六日 近衛准后家会始

「竹有佳色」

内前他

安永八年正月廿四日 和歌御会始

「池岸有松鶴」

御製・院御製・内前他

安永十年正月十八日 仙洞和歌御会始

「寄民祝国」

御製・内前他

安永十年正月廿四日 禁中御会始

「禁中祝」

御製・院御製・内前他

安永十年正月廿四日 和歌御会始

「禁中祝」

〔前項に同じ・別筆〕

御製・院御製・内前他

安永十年二月十六日 近衛准后家会始

「鶯知万春」

内前他

天明二年正月十八日 仙洞御会始

「寄道慶賀」

御製・内前他

天明二年廿四日 和歌御会始

「貴賤迎春」

御製・院御製・太后宮他

天明二年二月十八日 近衛准后家会始

「霞遠山衣」

内前他

天明二年二月廿四日 一品宮和歌会始写

「松色春久」

内前他

天明三年正月十八日 仙洞和歌御会始

「松有歓声」

御製・尚実他

天明三年正月十八日 仙洞和歌御会始

「松有歓声」

〔前項に同じ・別筆〕

御製・尚実他

天明三年正月廿四日 公宴和歌御会始

「梅有佳色」

御製・院御製・太后宮他

天明三年二月二日 仙洞当座御会

「鶯知春」

御製・為泰他

天明三年正月廿八日 御当座始

「霞知春」他

御製・資枝他

天明六年二月十四日 閑院一品宮会始

「松間梅花」

尚実他

天明七年二月廿二日 後鳥羽院五百五十回聖

忌從仙洞御奉納和歌

「水郷春曙」

御製・尚実他

天明七年二月廿二日 法案三十首和歌

「早春」他

為泰他

六月七日 点取詠草

「夕立」

豊仲他

文政十年三月十三日 御家御会始

「鶯千春友」

〔巻頭「一条家会始写」とあり〕

政通他

文政十一年二月十七日 御家御会始

〔花有歎色〕

政通他

文政十三年後三月十六日 於修学院御当座

〔春日遅々〕

御製・政通他

〔文政十三年後三月十六日〕 於修学院御当

座渡座

〔潤月見花〕他

御製・資愛他

天保三年十月十七日 於修学院御当座

〔紅葉残如秋〕他

御製・政通他

〔天保三年十月十七日 於修学院御当座〕

後座

〔花色透霞〕他

政通他

慈鎮和尚四百五十回忌和歌

〔夕鶯〕他

御製・吉忠他

〔年時不明〕〔四季名所歌〕

〔高砂〕他

通躬他

七月七日 詩歌当座御会

〔七夕手向〕

御製・道香他

十二月廿一日 吉田社御法衆

〔若木梅〕他

邦永他

同十二月廿二日 水無瀬宮御法衆

〔鶯〕他

通躬他

記録所名所紙形和歌

〔春日野〕他

職仁他

二月廿二日 水無瀬宮御法衆

〔早春鶯〕他

御製・通躬他

二月廿二日 水無瀬宮御法衆

〔野若菜〕他

正仁他

八月廿二日 水無瀬宮御法衆

〔山早春〕他

通誠他

九月廿一日 吉田社御法衆

〔柳帯露〕他

邦永他

九月廿二日 水無瀬宮御法衆

〔余寒水〕他

通躬他

記録所名所色紙形和歌

〔春日野〕他

職仁他

〔年時不明〕

〔松契多春〕

御製・智仁他

V (225-48)

〔年時不明〕〔和歌書留〕

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌書留〕

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔滝花〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔浦月〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔水郷〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔山家夕〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔作者名欠〕

三月十四日〔和歌書留〕

〔寄花旅〕他

通純他

三月廿七日〔和歌書留〕

〔牡丹〕

御製・堯然他

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔秋夕〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔庭前夏菊〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌書留〕

〔橋苔〕他

惟永他

〔年時不明〕〔和歌書留〕

〔作者名欠〕

太神宮法樂正月分

〔時雨晴〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔江上霞〕他

〔作者名欠〕

〔公福点〕

弘化三年十二月少女兩人詠

〔名所沢〕他

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔池蛙〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌書留〕

〔郭公声幽〕

〔作者名欠〕

正月十四日院御会始他〔和歌書留〕

〔春風先発苑中梅〕

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌書留〕

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌書留〕

為教、定経他

〔年時不明〕〔和歌書留〕

〔見恋〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔盛花〕他

〔作者名欠〕

実教〔詠草〕

〔立春〕他

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔庭雪〕他

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌詠草〕

〔朝雲雀〕他

文平力

〔道雨詠進、三井寺紀行〕

〔年時不明〕〔和歌書留〕

〔春月〕他

貞建他

〔年時不明〕〔詩歌書留〕

〔初見花〕他

康道

VI (25-42)

〔目錄二三三番 詠草 文祿至天保〕

元和六年、同七年 詠草 実条

元和九年 愚詠草 実条詠

慶長十年 詠草 実条詠

慶長八年九月、同九年 詠草 実条

慶長詠草〔年月日次第不同也〕とあり〕

慶長七年上巳以来 内裏着到百首 実条詠

慶長五年 詠草 実条詠

〔文祿二年〕詠草 実条詠

〔定家卿藤川題百首〕聞書カ。天正八年奥

書。〕

慶長五年 詠草 実条詠

雑之覺年不同江戸□□

寛永二年元日詠他

寛永十一年 愚詠草 実条詠

正月十七日 禁中御会始〔水石歴幾年〕

他

寛永九年用心ノ歌少々

〔作者名欠〕

〔年時不明〕〔和歌書留〕

〔名所浦〕他

〔作者名欠〕

延享元年六月一日 住吉社御法楽

〔初春松〕他

御製・直仁他

宝曆十二年八月十五夜 清涼殿御当座歌合

享保四年七夕御会和歌

〔七夕天象〕

御製・兼香他

享保四年二月廿五日 聖廟御法楽

〔初春風〕他

吉忠他

享保四年二月廿七日 多賀社御法楽

〔水解〕他

通誠他

安永六年正月十八日 仙洞御会始

〔初春見鶴〕

御製・内前他

〔年時不明〕

〔織女雲為衣〕

御製・智仁他

正徳六年二月廿二日 水無瀬宮御法楽

〔霞遠山衣〕他

通誠他

〔慶応元年五月於筑前国旅館人々相共祭贈三

品羽林正成卿之時敬述心緒之詞并歌〕他

季知

享和三年稽古詠草留

〔作者名欠〕

〔年時不明〕

〔春風来海上〕

清子他

〔明治二年神無月十六日で始まる「十月」と

題する文章、歌。扇面の書法。』『早梅』夏

子』とする歌〕

歌合 道堅法師歌之

〔永祿十二年通勝、文祿二年也足軒奧書〕

実条公三被尋衆ノ歌 月日次第不同

寛永十三年正月九日 仙洞御会始

〔霞添山気色〕

通村他

〔天保五年、六年 昌俊詠草〕